

厚生常任委員会資料

令和5年12月6日

病院局

1 議案

- 【議案第41号】 「令和5年度宮崎県立病院事業会計補正予算
(第1号)」の概要 3 - 4

2 その他報告事項

- (1) 県立病院事業の令和5年度上半期の業務状況について 5 - 16
- (2) 「宮崎県病院事業経営計画2021」の改定(素案)
について 17

1 議案

【議案第41号】

「令和5年度宮崎県立病院事業会計補正予算（第1号）」の概要

経営管理課

1 補正の理由

人事委員会勧告に基づく職員の給与改定に伴う給与費の増額

2 補正の内容

(1) 収益的支出の増額

病院事業費用に損益勘定支弁職員に係る給与費を計上する。

(単位：千円)

科目	既決予定額	補正予定額	計	備考
病院事業収益	42,492,671	0	42,492,671	
病院事業費用	44,957,010	369,571	45,326,581	
医業費用	42,407,943	369,571	42,777,514	
給与費	18,710,172	369,571	19,079,743	
給料	7,833,695	170,702	8,004,397	月例給の引上げ (+0.97%)による増
手当	6,263,451	134,132	6,397,583	勤勉手当の支給月数引上げ (+0.1月分)等による増
法定福利費	2,609,565	21,736	2,631,301	給与改定に伴う 共済負担金等の増
賞与引当金繰入額	942,767	35,757	978,524	期末・勤勉手当の補正に伴う増
法定福利費引当金繰入額	180,969	7,244	188,213	法定福利費の補正に伴う増
収支残	▲ 2,464,339	▲ 369,571	▲ 2,833,910	

1 議案

【議案第41号】

「令和5年度宮崎県立病院事業会計補正予算（第1号）」の概要

- (2) 資本的支出の増額
資本的支出に資本勘定支弁職員に係る給与費を計上する。

(単位：千円)

科目	既決予定額	補正予定額	計	備考
資本的収入	7,616,090	0	7,616,090	
資本的支出	10,160,695	86	10,160,781	
建設改良費	5,428,695	86	5,428,781	
改築整備費	2,152,865	86	2,152,951	
給与費	15,338	86	15,424	宮崎病院再整備に 従事する職員
収支残	▲ 2,544,605	▲ 86	▲ 2,544,691	

※ 資本的収支の不足額2,544,691千円は、損益勘定留保資金等で補てんする。

○ その他報告事項

県立病院事業の令和5年度上半期の業務状況について

経営管理課

1 患者の状況

令和5年度上半期における患者数は、延入院患者数 146,307人、延外来患者数 170,651人で、前年度同期と比べ、入院で 1,484人の減、外来で 1,342人の減となった。

(単位：人)

区 分	5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
延入院患者数	146,307	147,791	▲ 1,484	▲ 1.0%
宮崎病院	67,975	66,851	1,124	1.7%
延岡病院	45,440	49,963	▲ 4,523	▲ 9.1%
日南病院	32,892	30,977	1,915	6.2%
延外来患者数	170,651	171,993	▲ 1,342	▲ 0.8%
宮崎病院	78,583	79,564	▲ 981	▲ 1.2%
延岡病院	50,549	49,997	552	1.1%
日南病院	41,519	42,432	▲ 913	▲ 2.2%

○ その他報告事項

2 経理の状況

(1) 収益的収支

令和5年度上半期における収益的収支の状況は、病院事業収益 18,990,638千円、病院事業費用 20,840,038千円で、純損益は 1,849,400千円の赤字となり、前年度同期と比べ 739,022千円悪化した。

(単位：千円)

区 分	5年度上半期	4年度上半期	増 減	増減率
病院事業収益	18,990,638	17,672,493	1,318,145	7.5%
入院収益	11,158,539	9,592,395	1,566,143	16.3%
外来収益	4,189,846	3,839,163	350,683	9.1%
一般会計繰入金	2,253,858	3,226,133	▲ 972,275	▲ 30.1%
(病床確保料)	604,803	1,555,082	▲ 950,279	▲ 61.1%
長期前受金戻入	996,217	768,560	227,658	29.6%
その他収益	306,211	246,242	59,970	24.4%
特別利益	85,966	0	85,966	皆増
病院事業費用	20,840,038	18,782,871	2,057,167	11.0%
給与費	8,953,033	8,478,473	474,559	5.6%
材料費	4,980,266	4,503,284	476,982	10.6%
経費	2,671,456	2,482,632	188,825	7.6%
減価償却費	2,141,827	2,082,047	59,780	2.9%
その他費用	1,145,605	1,236,434	▲ 90,829	▲ 7.3%
特別損失	947,851	0	947,851	皆増
純損益	▲ 1,849,400	▲ 1,110,378	▲ 739,022	-
(経常損益)	▲ 987,515	▲ 1,110,378	122,862	-
(償却前損益)	318,168	564,459	▲ 246,290	-

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

※ 収益、費用ともに実額、年間予算額の2分の1の額又は年間見込額の2分の1を計上している。

○ その他報告事項

(2) 病院別上半期の状況

ア 宮崎病院

① 患者の状況

区 分		5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
入院	延患者数 (人)	67,975	66,851	1,124	1.7%
	新規患者数 (人)	5,367	5,301	66	1.2%
	一日平均患者数 (人)	371	365	6	1.7%
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	76,485	62,548	13,937	22.3%
	稼働病床利用率 (%)	75.3	75.5	▲ 0.2	-
	平均在院日数 (日)	11.7	11.7	0.0	0.3%
外来	延患者数 (人)	78,583	79,564	▲ 981	▲ 1.2%
	新規患者数 (人)	8,503	9,165	▲ 662	▲ 7.2%
	一日平均患者数 (人)	634	647	▲ 13	▲ 2.0%
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	28,715	25,163	3,552	14.1%

○ その他報告事項

ア 宮崎病院

② 収支の状況

(単位：千円)

区 分	5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
病院事業収益	9,297,162	8,105,872	1,191,290	14.7%
入院収益	5,199,056	4,181,386	1,017,670	24.3%
外来収益	2,256,537	2,002,106	254,431	12.7%
一般会計繰入金	1,049,203	1,478,406	▲ 429,203	▲ 29.0%
(病床確保料)	237,045	677,046	▲ 440,001	▲ 65.0%
長期前受金戻入	537,018	305,314	231,705	75.9%
その他収益	169,382	138,662	30,720	22.2%
特別利益	85,966	0	85,966	皆増
病院事業費用	10,718,443	9,295,249	1,423,194	15.3%
給与費	4,200,492	4,026,158	174,334	4.3%
材料費	2,506,551	2,222,208	284,343	12.8%
経費	1,108,793	1,046,497	62,295	6.0%
減価償却費	1,407,067	1,335,079	71,988	5.4%
その他費用	547,690	665,307	▲ 117,616	▲ 17.7%
特別損失	947,851	0	947,851	皆増
純損益	▲ 1,421,281	▲ 1,189,377	▲ 231,905	-
(経常損益)	▲ 559,397	▲ 1,189,377	629,980	-
(償却前損益)	412,360	141,273	271,087	-

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

イ 延岡病院

① 患者の状況

区 分		5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
入院	延患者数 (人)	45,440	49,963	▲ 4,523	▲ 9.1%
	新規患者数 (人)	3,838	4,007	▲ 169	▲ 4.2%
	一日平均患者数 (人)	248	273	▲ 25	▲ 9.1%
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	90,068	75,236	14,832	19.7%
	稼働病床利用率 (%)	64.0	70.4	▲ 6.4	-
	平均在院日数 (日)	10.8	11.4	▲ 0.6	▲ 5.3%
外来	延患者数 (人)	50,549	49,997	552	1.1%
	新規患者数 (人)	5,729	5,764	▲ 35	▲ 0.6%
	一日平均患者数 (人)	408	406	1	0.3%
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	26,235	25,375	860	3.4%

○ その他報告事項

イ 延岡病院

② 収支の状況

(単位：千円)

区 分	5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
病院事業収益	6,521,238	6,434,295	86,942	1.4%
入院収益	4,092,709	3,759,030	333,679	8.9%
外来収益	1,326,146	1,268,659	57,488	4.5%
一般会計繰入金	753,295	1,060,406	▲ 307,111	▲ 29.0%
(病床確保料)	228,777	519,770	▲ 290,993	▲ 56.0%
長期前受金戻入	283,006	283,666	▲ 660	▲ 0.2%
その他収益	66,081	62,535	3,546	5.7%
特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	6,560,025	6,178,917	381,108	6.2%
給与費	2,929,878	2,730,890	198,987	7.3%
材料費	1,856,802	1,748,979	107,823	6.2%
経費	935,174	865,054	70,120	8.1%
減価償却費	447,013	450,399	▲ 3,386	▲ 0.8%
その他費用	391,158	383,595	7,563	2.0%
特別損失	0	0	0	-
純損益	▲ 38,787	255,379	▲ 294,166	-
(経常損益)	▲ 38,787	255,379	▲ 294,166	-
(償却前損益)	160,316	457,903	▲ 297,588	-

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

ウ 日南病院

① 患者の状況

区 分		5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
入院	延患者数 (人)	32,892	30,977	1,915	6.2%
	新規患者数 (人)	2,115	1,927	188	9.8%
	一日平均患者数 (人)	180	169	10	6.2%
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	56,755	53,329	3,425	6.4%
	稼働病床利用率 (%)	64.0	60.2	3.7	-
	平均在院日数 (日)	14.6	15.1	▲ 0.5	▲ 3.2%
外来	延患者数 (人)	41,519	42,432	▲ 913	▲ 2.2%
	新規患者数 (人)	3,713	3,403	310	9.1%
	一日平均患者数 (人)	335	345	▲ 10	▲ 2.9%
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	14,624	13,396	1,228	9.2%

○ その他報告事項

ウ 日南病院

② 収支の状況

(単位：千円)

区 分	5 年度上半期	4 年度上半期	増 減	増減率
病院事業収益	3,172,238	3,132,325	39,913	1.3%
入院収益	1,866,773	1,651,980	214,794	13.0%
外来収益	607,163	568,399	38,764	6.8%
一般会計繰入金	451,361	687,322	▲ 235,961	▲ 34.3%
(病床確保料)	138,981	358,266	▲ 219,285	▲ 61.2%
長期前受金戻入	176,193	179,580	▲ 3,387	▲ 1.9%
その他収益	70,748	45,045	25,703	57.1%
特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	3,561,570	3,308,705	252,865	7.6%
給与費	1,822,663	1,721,425	101,238	5.9%
材料費	616,913	532,097	84,816	15.9%
経費	627,490	571,081	56,409	9.9%
減価償却費	287,747	296,569	▲ 8,822	▲ 3.0%
その他費用	206,757	187,533	19,224	10.3%
特別損失	0	0	0	-
純損益	▲ 389,331	▲ 176,379	▲ 212,952	-
(経常損益)	▲ 389,331	▲ 176,379	▲ 212,952	-
(償却前損益)	▲ 254,507	▲ 34,718	▲ 219,789	-

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

(3) 資本的収支

令和5年度上半期における資本的収支の状況は、収入が1,545,545千円、支出が2,940,018千円で、収支差は1,394,473千円の支出超過となった。

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
企業債	212,300	建設改良費	595,509
一般会計負担金	1,333,245	企業債償還金	2,340,009
補助金	0	投資	4,500
計	1,545,545	計	2,940,018
		収支差	▲ 1,394,473

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

※ 一般会計負担金及び補助金は、年間見込額の2分の1を計上している。

○ その他報告事項

(4) 貸借対照表 (令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
固定資産	54,843,907	固定負債	45,650,813
有形固定資産	50,902,659	企業債	40,344,831
土地	4,016,416	他会計借入金	0
建物	36,706,232	リース債務	1,080,708
構築物	255,297	引当金	4,225,274
器械備品	7,554,059	流動負債	19,651,863
車輛	22,519	一時借入金	518,882
リース資産	1,231,272	企業債	4,545,171
建設仮勘定	1,116,864	リース債務	137,437
無形固定資産	190,991	未払金	1,973,470
電話加入権	1,680	前受金	1,538,108
その他無形固定資産	189,312	引当金	1,123,736
投資その他の資産	3,750,256	その他流動負債	9,815,059
長期貸付金	31,500	繰延収益	6,037,730
長期前払消費税	3,718,256	長期前受金	47,257,510
その他投資	500	長期前受金収益化累計額	▲ 41,219,780
流動資産	21,072,862	負債合計	71,340,406
現金預金	4,226,026	資本金	12,743,396
未収金	6,679,391	自己資本金	12,743,396
貸倒引当金	▲ 54,254	剰余金	▲ 8,167,033
貯蔵品	257,329	資本剰余金	110,476
前払金	258,913	利益剰余金	▲ 8,277,509
その他流動資産	9,705,457	資本合計	4,576,363
資産合計	75,916,769	負債・資本合計	75,916,769

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

(5) 借入金の状況（令和5年9月30日現在）

ア 企業債明細表

（単位：千円）

病院名	借入総額	償還額		未償還残高
		5年度上半期	累 計	
宮崎病院	37,064,618	1,020,508	3,616,287	33,448,331
延岡病院	23,460,470	773,541	17,105,664	6,354,806
日南病院	18,040,830	545,959	12,953,964	5,086,866
計	78,565,918	2,340,009	33,675,916	44,890,002

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

イ 一般会計借入金明細表 一般会計借入金はなし。

ウ 一時借入金明細表

（単位：千円）

病院名	借入総額	償還額		未償還残高
		5年度上半期	累 計	
宮崎病院	518,882	0	0	518,882
計	518,882	0	0	518,882

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

3 令和5年度の決算見通し

令和5年度決算は、病院事業収益 37,793,128千円、病院事業費用 42,896,218千円で、純損益は 5,103,089千円の赤字となる見通し。

(単位：千円)

区 分	事業合計	宮崎病院	延岡病院	日南病院
病院事業収益	37,793,128	18,245,000	13,272,497	6,275,632
入院収益	22,660,784	10,290,731	8,555,012	3,815,041
外来収益	8,404,702	4,444,323	2,730,332	1,230,048
一般会計繰入金	3,949,773	1,895,900	1,290,132	763,741
(病床確保料)	632,663	252,585	241,097	138,981
長期前受金戻入	1,992,435	1,074,037	566,012	352,386
その他収益	613,502	368,077	131,009	114,415
特別利益	171,932	171,932	0	0
病院事業費用	42,896,218	22,075,150	13,538,463	7,282,604
給与費	18,306,357	8,564,293	5,975,326	3,766,738
材料費	10,164,110	5,141,508	3,805,292	1,217,309
経費	5,825,205	2,497,758	2,020,101	1,307,345
減価償却費	4,283,655	2,814,134	894,026	575,494
その他費用	2,421,189	1,161,755	843,717	415,718
特別損失	1,895,701	1,895,701	0	0
純損益	▲ 5,103,089	▲ 3,830,151	▲ 265,966	▲ 1,006,972
(経常損益)	▲ 3,379,320	▲ 2,106,382	▲ 265,966	▲ 1,006,972
(償却前損益)	▲ 772,659	▲ 159,511	122,175	▲ 735,324

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

○ その他報告事項

「宮崎県病院事業経営計画2021」の改定（素案）について

経営管理課

- 第1章** [計画改定の趣旨] 「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、地域の医療機関との機能分化・連携強化等に重点的に取り組み、経営を強化する必要があることから、計画を改定する。
- [計画期間] 令和3年度から令和9年度まで（7年間）

県立病院を取り巻く環境の変化等

第2章 取り巻く環境の変化

- **医療ニーズの変化**
本格的な人口減少による疾病構造の変化と医療ニーズの変化への対応
- **地域医療構想の推進**
県立病院が果たすべき機能・役割に応じた病床数の確保と医療提供体制の構築
- **働き方改革の推進**
医師の働き方改革への対応や医療スタッフの働きやすい環境づくり
- **社会保障関係費の抑制等**
診療報酬のマイナス改定や各種施設基準・加算等の厳格化、エネルギー価格上昇及び物価高騰
- **医療分野におけるデジタル化の進展**
AI技術等の活用による医療サービスの最適化・効率化

第3章 県立病院が果たすべき役割と機能

- **経営の基本的な考え**
「公共の福祉の増進」と「健全な経営」の実現
- **新ガイドラインに基づく要請**
・持続可能な地域医療提供体制を確保するため、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を重視し、経営を強化することを要請
・地域医療構想等を踏まえ、個々の公立病院が地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化することが重要
- **県医療計画等での位置づけ**
・拠点病院、急性期を担う中核的病院としての役割・機能
・新興感染症等の拡大時に対する平時からの備え

第4章 県立病院の使命

全県レベルあるいは地域の中核病院として、経営の健全性を維持しながら、県民に高度で良質な医療を安定的に提供する。

- 1 多数の診療科の連携による総合性を活かした高度・急性期医療の提供
- 2 社会的要請により政策的に対応する必要がある医療の提供
- 3 中核病院として地域医療機関等との連携強化による医療の提供
- 4 安定した経営基盤の確立による持続可能な医療の提供

第5章 改定計画の基本目標と具体的取組

第6章 医療面の基本目標	県立病院へのニーズに対応した 医療機能の一層の充実と地域医療機関との 機能分化・連携強化	第7章 経営面の基本目標	経営健全化に向けた取組の強化 (病院事業全体での資金収支の改善)																																														
1 質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高度医療、急性期医療機能の充実・強化 (2) 医療スタッフの確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各大学と連携した医師確保、研修等による育成 ○ 「宮崎県キャリア形成プログラム」対象医療機関としての医師育成 (3) 働き方改革の推進と誰もが働きやすい環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ システム導入による勤務実態の把握 ○ 勤務時間の見直し、医師事務作業補助者の活用、職種間のタスクシフト/シェア等の推進 	2 救急医療や災害医療等の安定的かつ持続的な提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 救急医療提供体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 第三次・第二次救急医療施設としての役割・機能の発揮 (2) 大規模災害時における医療提供体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ BCP（業務継続計画）による訓練や災害派遣医療チーム等の育成等による体制強化 (3) 感染症への対応と通常医療との両立 <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要病床確保、感染制御チーム体制の充実、県等との連携強化 ○ 感染拡大に備えた平時からの専門人材の確保・育成、装備 	1 業収支の改善 <ol style="list-style-type: none"> (1) 診療報酬制度への適切な対応による収益の確保 <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関と連携した新規患者の増加、新たな施設基準の取得 ○ 外部コンサルを活用した経営分析等の実施 (2) 3病院一体となった費用節減 <ul style="list-style-type: none"> ○ 医薬品等の共同購入、新たな在庫管理（SPD方式）の導入 (3) 経営の見える化による安定的な事業運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営指標の設定、職員の経営参画意識の醸成 ○ 原価計算の手法による収支分析、経営の見える化の推進 	2 適切な設備投資・更新 <ol style="list-style-type: none"> (1) 建物・施設等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 後年度負担に配慮した計画的な改修の実施、費用対効果を踏まえた検討 (2) 医療機器等の購入・更新 <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部コンサルを活用した中長期的な更新計画の策定 ○ 計画的な購入・更新、高額医療機器の共同利用の検討 (3) デジタル化関連の投資 <ul style="list-style-type: none"> ○ 3病院間での共通化、標準化による費用節減 																																														
3 安心・安全な医療の提供と患者サービスの向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安心・安全な医療提供と患者・家族への支援機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者支援センター等による患者サポート体制の強化 (2) 病院機能のデジタル化による患者サービスと医療機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○ 電子処方箋や電子カルテ情報の標準化等を推進 ○ サイバー攻撃等に対する適切なセキュリティ対策 (3) 医療事故防止等の医療安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 3県立病院連携による医療安全レベルの向上 	4 地域の医療機関との機能分化・連携強化と地域医療充実への貢献 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各県立病院の役割や機能の見直し、地域医療機関との役割分担と連携強化 (2) 地域医療の充実への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学等との連携による臨床研修医受入や研修の場の提供 ○ 医師不足の地域への診療応援体制の構築 (3) 住民の理解のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院の役割・機能見直しにおける関係自治体等と連携した住民に対する丁寧な説明を実施 	3 一般会計繰入金の確保・不断の見直し <ul style="list-style-type: none"> ○ 政策医療・不採算医療に要する経費について、総務省の繰出基準に則した適正な繰入金を確保 	【収支計画 R9（計画最終年度）→R14（黒字化目標年度）】 ■病院事業全体 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R9</th> <th>R14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支</td> <td>41,418</td> <td>42,049</td> </tr> <tr> <td>病院事業収益</td> <td>36,430</td> <td>37,133</td> </tr> <tr> <td>医療外収益</td> <td>4,988</td> <td>4,897</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>病院事業費用</td> <td>42,903</td> <td>41,993</td> </tr> <tr> <td>医療費用</td> <td>40,664</td> <td>39,686</td> </tr> <tr> <td>医療外費用</td> <td>2,239</td> <td>2,307</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>純損益</td> <td>-1,485</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>経常収支</td> <td>-1,485</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>96.5%</td> <td>100.1%</td> </tr> <tr> <td>修正医療収支</td> <td>-4,980</td> <td>-3,299</td> </tr> <tr> <td>修正医療収支比率</td> <td>87.8%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>償却前損益</td> <td>1,314</td> <td>2,298</td> </tr> </tbody> </table>		R9	R14	収益的収支	41,418	42,049	病院事業収益	36,430	37,133	医療外収益	4,988	4,897	特別利益	0	19	病院事業費用	42,903	41,993	医療費用	40,664	39,686	医療外費用	2,239	2,307	特別損失	0	0	純損益	-1,485	56	経常収支	-1,485	37	経常収支比率	96.5%	100.1%	修正医療収支	-4,980	-3,299	修正医療収支比率	87.8%	91.7%	償却前損益	1,314	2,298	経常黒字化への道筋 <ol style="list-style-type: none"> 1 診療報酬制度への的確な対応、地域との連携強化等による収益確保 2 費用の節減、計画的な設備投資等による収支改善 3 地域の医療需要等に対応した病院機能の見直し 4 病院事業全体で、令和14年度の経常収支黒字化を目指す
	R9	R14																																															
収益的収支	41,418	42,049																																															
病院事業収益	36,430	37,133																																															
医療外収益	4,988	4,897																																															
特別利益	0	19																																															
病院事業費用	42,903	41,993																																															
医療費用	40,664	39,686																																															
医療外費用	2,239	2,307																																															
特別損失	0	0																																															
純損益	-1,485	56																																															
経常収支	-1,485	37																																															
経常収支比率	96.5%	100.1%																																															
修正医療収支	-4,980	-3,299																																															
修正医療収支比率	87.8%	91.7%																																															
償却前損益	1,314	2,298																																															

第8章 各病院の主な取組

- | | | |
|---|--|---|
| 宮崎病院 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「断らない救急」の実践 ○ 集学的がん治療や「ゲイツ」等による高度な医療の提供 ○ 地域に貢献できる医療スタッフの確保・育成 ○ 病院再整備を踏まえた収支の改善 | 延岡病院 <ul style="list-style-type: none"> ○ 化学療法センター転充、心臓脳血管センター・ブリッド手術室整備等による機能充実 ○ ドクターカーの効果的な運用 ○ 地域の医療機関等との連携強化 ○ 原価計算システムによる経営の見える化の推進 | 日南病院 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療機関との機能分化・連携強化 ○ 地域医療ニーズに対応した救急医療体制の構築 ○ 圏域内唯一の脳・心疾患等の急性期医療の提供 ○ 経営健全化に向けた取組の強化 |
|---|--|---|